

平成26年度
十勝人チャレンジ支援事業 採択事業
(1次公募)

No.	チャレンジ人	年齢	調査先/テーマ	事業概要	応募者市町村
1	イノクチ フミコ 井口 芙美子	33	ヨーロッパ(イタリア ドイツ) 十勝型教育農場のあり方を探りにいこう	<ul style="list-style-type: none"> ●「食」や「農」の体験を通して学ぶ場を作ることで、地域の愛着を育むとともに、都会からの来訪者に農業の重要性を発信する場を作る。 ●イタリアでは、味覚教育や地域に対する愛着について教育ファームを通じてその手法を学び、ドイツでは、環境教育の手法が農場が活用されている事例から、伝統的な農業の教育法、観光的活用などを農家民宿から研究する。 ●郷土を愛する人を増やし、それを発信できる拠点(農場)やレストラン・キッチン開設、教育農場の開設を目指す。 	帯広市
2	カワイ ノブ ヒロ 川井 延浩	40	ニュージーランド 羊を活用した環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、機械作業で堤防等の除草を行っているが、これに羊を活用して環境に負荷のない方法で除草を行いたい。 ●日本に似て海に囲まれ山が多いニュージーランドで羊の放牧が実践されており、この放牧手法を調査研究する。 ●本場の放牧技術で持続可能な環境整備を行うことで雇用を創出し、羊のいる景観を作ることを目指す。 	音更町
3	キタ テ アイ 北出 愛	33	イタリア 「酪農という環境」を「楽しんでもらえる」ような「伝え方」を北イタリアで学ぶこと	<ul style="list-style-type: none"> ●酪農王国と言われている十勝であるが、まだその魅力が伝わっていないので、酪農の魅力をもっとよりよく伝えたい。 ●何度も来たくくなるような、酪農空間に訪れた人を「楽しませる」工夫がイタリアのトスカーナ州「教育農場バルジャーノ」にはあることから、調査研究を行う。 ●酪農をすばらしさをしっかり伝え、訪れた人を楽しませ、何度も来たくくなるような牧場を目指す。 	音更町
4	キクチ ア キ 菊地 亜希	29	ヨーロッパ(イタリア フランス) 消費者と生産者をつなげる牧場をめざして！ ～ヨーロッパにおける農家と地域の関わりを学ぶ～	<ul style="list-style-type: none"> ●広尾町は1次産業が主体であるが、地域の消費者に農業の素晴らしさが認識されていない。昨年より農家民泊の受け入れや「ピロロフェス」などの取り組みを行っているが、アプローチの引き出しが少ないことが自身の課題となっている。 ●農業先進地であるフランスとイタリアで消費者と生産者の関係性や地域の農家の関わり方を調査研究する。 ●調査研究を通じて、気軽に来てもらえる牧場づくりを目指し、カフェの設立を目指す。 	広尾町
5	アマ ガタ シンジ 天方 慎治	39	ヨーロッパ(ドイツ・スウェーデン)、国内(香川県・東京都) 東京オリンピックに十勝パンを提供！高品質で安全な焼成冷凍や半焼成(パーベイク)の冷凍流通可能な十勝パンの開発！	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで十勝産小麦を使った「十勝パン」の取り組みを地域で進めてきたが、域外への流通は品質管理の課題がある状況。 ●欧州では冷凍パン(焼成冷凍・半焼成冷凍)が普及していることから、欧州先進地域での調査と国内の冷却機製造メーカーでの調査研究を行う。 ●域外での十勝パン普及を冷凍パン技術により実現し、東京オリンピックを視野に東京で十勝パン普及の取り組みを目指す。 	帯広市
6	イシダ ナオヒサ 石田 直久・ 石田 ミキ 石田 美希	40 39	ヨーロッパ(フランス・EU圏) 十勝型高品質ミルクラム(アニョー・ド・レ)と羊肉チーズの確立	<ul style="list-style-type: none"> ●現在、羊肉の生産を行っているが、春限定のミルクラム(10週齢)は需要があるが、母体残乳の管理手法が確立しておらず、出荷が少ない状況。 ●このことの解決法として羊乳チーズを生産実現し、母体残乳の管理ができることでこれまで以上のミルクラム生産を行うことができることから、最高級羊乳チーズ「ロックフォールチーズ」の本場であり、最高級ミルクラム「アニョー・ド・レー」の本場であるフランスで調査研究を行う。 ●羊乳チーズ、ミルクラムの生産を足寄町でチーズ工房と協力して行うことで、地域の新たな名産品を作り、提供することを目指す。 	足寄町
7	ヨコヤマ ショウイチ 横山 将一	31	イタリア 加工用トマトの一般化	<ul style="list-style-type: none"> ●生食用トマトの流通に比べ、加工用トマトについては一般の認知が進んでおらず、使用方法も知られていない。 ●このことから、イタリアにて加工用トマトの一般家庭での使われ方や、トマトの流通、栽培の方法等を調査研究する。 ●調査後はトマト栽培に取り組み、直接販売に取り組みすることを目指す。 	池田町